

2026 年 9 月 10 日
J X 金属株式会社

東邦チタニウムにおける AI データセンター向け MLCC 用超微粉ニッケルの生産能力増強について

J X 金属株式会社（社長：林 陽一、以下「J X 金属」）のグループ会社である東邦チタニウム株式会社（社長：百野 修、以下「東邦チタニウム」）は、積層セラミックコンデンサ（MLCC；Multilayer Ceramic Capacitor）向け超微粉ニッケルのうち、小粒径品の生産能力を増強することを決定しましたので、お知らせします。茅ヶ崎工場（神奈川県茅ヶ崎市）において、2027 年から設備を段階的に稼働させ、小粒形品の生産能力を 2 倍に引き上げる計画です。さらに需要動向を踏まえ、順次供給能力の拡充を図ってまいります。

近年、生成 AI の急速な普及を背景に AI データセンターの建設が世界的に拡大しており、そこで使用される高性能サーバーや周辺機器に搭載される電子部品の需要が拡大しています。なかでもハイエンド MLCC は、小型・大容量化に加え、高い信頼性が求められています。その内部電極材料に使用されるニッケル粉についても、より微細で品質の安定した製品へのニーズが高まっています。

東邦チタニウムは、茅ヶ崎工場および若松工場（福岡県北九州市）※1にて超微粉ニッケルを製造しています。東邦チタニウムの超微粉ニッケルは、チタンの製錬技術を応用した独自の製造技術により、粒度分布幅の狭い超微粉ニッケルの生産が可能であり、ハイエンド MLCC の内部電極に使用されています。

今回、AI データセンター向けを中心にさらなる需要拡大が見込まれる小粒形の超微粉ニッケルについて、茅ヶ崎工場の設備を増強し、量産体制を強化します。

J X 金属グループは、AI データセンターや先端半導体を支える半導体用スパッタリングターゲット、インジウムリン基板、MLCC 用超微粉ニッケルなど、多様な先端材料を提供しています。本設備増強を通じて、成長が見込まれるハイエンド MLCC 市場への安定供給体制をさらに強化し、今後も先端デバイスに必要な素材の供給を通じて、社会の発展と革新に貢献してまいります。

以 上

<参考>

※1 2026 年 5 月 27 日付け東邦チタニウムプレスリリース「[ニッケル粉新工場（第 5 工場）の竣工について](#)」
東邦チタニウムの超微粉ニッケル製品ページは[こちら](#)をご覧ください